

長泉町国際交流協会

NIEAだより



No.64 令和3年4月発行

ホームページアドレス <http://www.town.nagaizumi.lg.jp/soshiki/gyosei/kokusai/1004.html>



第1回 Kia Ora! ながいずみ 開催♡

2月3日(水)~7日(日) ワンガヌイHOUSE ~小さな大使館~

姉妹都市交流30周年の歴史、手工芸品の展示、NZ産ワインやマヌカハニーなどの販売を行いました。チャレンジショップを通りかかった人達が興味を持って立ち寄り、また、NZに行ったことのある人の間では思い出話に花が咲いて、新たな交流の場となりました。

最終日には、元交流センター所長の高田氏がストリートビューを映しながら、街並みや景色、歴史などを説明しました。



1/16(±)~2/14(日)

イート アンド フィール ニュージーランド

Eat and Feel NZ!

キウイバーガー



NZ産クリームチーズの手作りケーキ
NZアイスコーヒー



フィッシュ&チップス



NZの食べ物に
興味をもて
ました。

ムール貝とアサリと長泉産焼き
根深ネギのガーリックバター蒸し



NZローストビーフサンド
フィッシュ&チップス



この機会にいろいろな
店を回れてよかった。

フラットホワイト
(コーヒー)



Yummy!

パブロボ
(メレンゲのスイーツ)



ミートパイ



ムール貝の白ワイン蒸し
フィッシュ&チップス

売れ切れて何度か
足を運びました。

とても楽しくスタンプを
集めることができました。
次の企画も
楽しみにしています!

スタンプラリーで
ゲットしたお菓子

キウイとクリームチーズのマフィン
キッシュ





ニュージーランド写真展 photo by 伊藤秀海

『もう一つの故郷』

1/25月~31日



まるでニュージーランドを旅行している気分になれたニュージーランド写真展。町内保育園の園児が描いた、羊やキウイ、タラナキ山など個性あふれる作品と伊藤さんの写真とのコラボも素晴らしかったです。コロナが収まったら、絶対ニュージーランドに行きたいと思う写真展でした。



Shu's best! 写真展の中から伊藤さんおすすめの数枚を紹介



The Volcano

タラナキ山が22,500年前に噴火した時に出来た数々の小高い丘。僕たちは、この大きな大地の上に生かされている小さな存在だ。

伊藤さんにインタビュー

今後の活動目標や抱負は？

大きく分けて2つあります。

1 長泉、三島、そして箱根の3つの都市と、それぞれのニュージーランドにある姉妹都市とを繋げるイベントを実現させる！

2 ニュージーランドで日本の写真展を開催する！

どちらも2022年までに実現出来たら良いなと思っています。

ニュージーランドの魅力は？

得意なことや好きなことをするのを応援してくれる、優しくフレンドリーなKiwi（ニュージーランド人の愛称）の国民性！ ゆったりとした時間の過ごし方。そしてもちろん、大自然！

写真に込めた思いは？

写真は、自分の感動した瞬間を人に発信し伝えるツールなんです。今回の写真展に関して言えば、ワクワクする写真、日本の文化とは違ったニュージーランドの素の姿を中心にまとめて発表しました。



ワンガヌイ

オンラインツアー

2/13(土)



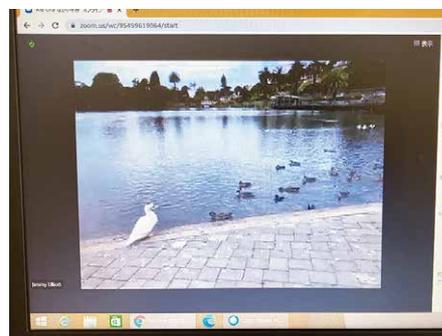
現地ガイドが英語で、日本人留学生が日本語で市内を案内してくれました。まずは、高台にあるタワーに登ると、湾曲した川沿いにある街が眺められます。高いビルはなく緑が多くて穏やかな感じがします。

次に、川沿いのボードウォークを歩いた後、カフェに立ち寄ってアイスコーヒーを注文、どこの店のスタッフもフレンドリーです。ストローが紙製なのは、さすが環境に配慮しているNZですね。街中を進むと、両側に繁った街路樹が続いていて、街中でも自然を感じることができます。広々とした公園では、皆ゆったりと過ごしています。

次は、山盛りのフィッシュ&チップスとアイスクリームを購入してからバージニア湖へ。ここは鴨やアヒル等がたくさんいて、のんびりと散策できる市民の憩いの場所となっています。

ワンガヌイには、魅力がいっぱい！

『ぜひ、ワンガヌイへ来てください！ KIA ORA ！』





あんな国、こんな国、海外滞在記

ドイツ Germany ～英語と現地語ができると世界は広がる～

MEMO
 首都：ベルリン
 人口：8,315万人（2019年）
 通貨：ユーロ
 言語：ドイツ語



お気に入りのエルツ城



大好きなFinjaの家族と



冬のライン河畔 ヒツジの放牧

2017年、夫のケルン赴任に伴い、娘3人とともに渡独しました。
 またとないチャンスの到来です。西の商都デュッセルドルフの隣町メアブッシュに、新築中の庭付き二戸建住宅をインターネットで見つけ、7月に転居。成田直行便も飛ぶ国際空港まで、クルマで15分という便利さでした。近所には農場、牧場、果樹園が広がり、新鮮な卵やお肉、おいしい手作りハムやソーセージ、チーズ、ドイツパン、はちみつなどがいつでも購入できるととても恵まれたエリアでした。

ただ誤算だったのは、そこはドイツ語圏。スーパーの商品、家電や道路標識など、どこを見てもすべてドイツ語表記で英語の並記はなし。毎日Google翻訳片手に四苦八苦。そんな不便さと、元々語学好きだったこともあり、2年半の在住期間の半分は、1日4時間の授業が週に5日ある、移民向けドイツ語学習の集中コースで、本気で勉強しました。「大変だったけど楽しかった！」そのかいあって帰国前には長い会話ができるようになったのは本当に嬉しかったです。

また、国の歴史からもあるのか、ドイツはいろんな意味で個人主義の国。「自分は自分、人は人、むしろその違いが大事」という国民性。そこが自分の肌には非常に合いました。一見冷たそうに感じますが、どこからどうみてもアジア人の私が（笑）一生懸命英語もしくはドイツ語で、でも笑顔で、助けを求めればみんな親切で優しい、そんな雰囲気は私には心地よかったです。

国民の多くがキリスト教信者の国で、特に日曜は休日とみなされスーパーは完全休業！草刈りなど騒々しいこともNG！週末は家族でライン河沿いを散歩したり、サイクリングしたり、時間がゆったりと流れて、人々の心の余裕が感じられ、また人生を楽しんでいる雰囲気がとても新鮮で素敵でした。

最後に、インターナショナルスクールに通っていた娘達のお陰で、様々な国籍のママ友ができたこと、これは私の人生最大の収穫、宝物だと思っています。英語と現地語ができると世界は本当に広がるのだ！（河北めぐみ）

発行 長泉町国際交流協会 編集 長泉町国際交流協会広報委員会
 編集委員 長島はるみ 吉川美紀子 八山富美代
 連絡先 長泉町役場行政課内 協会事務局 長泉町中土狩828 TEL 055-989-5500